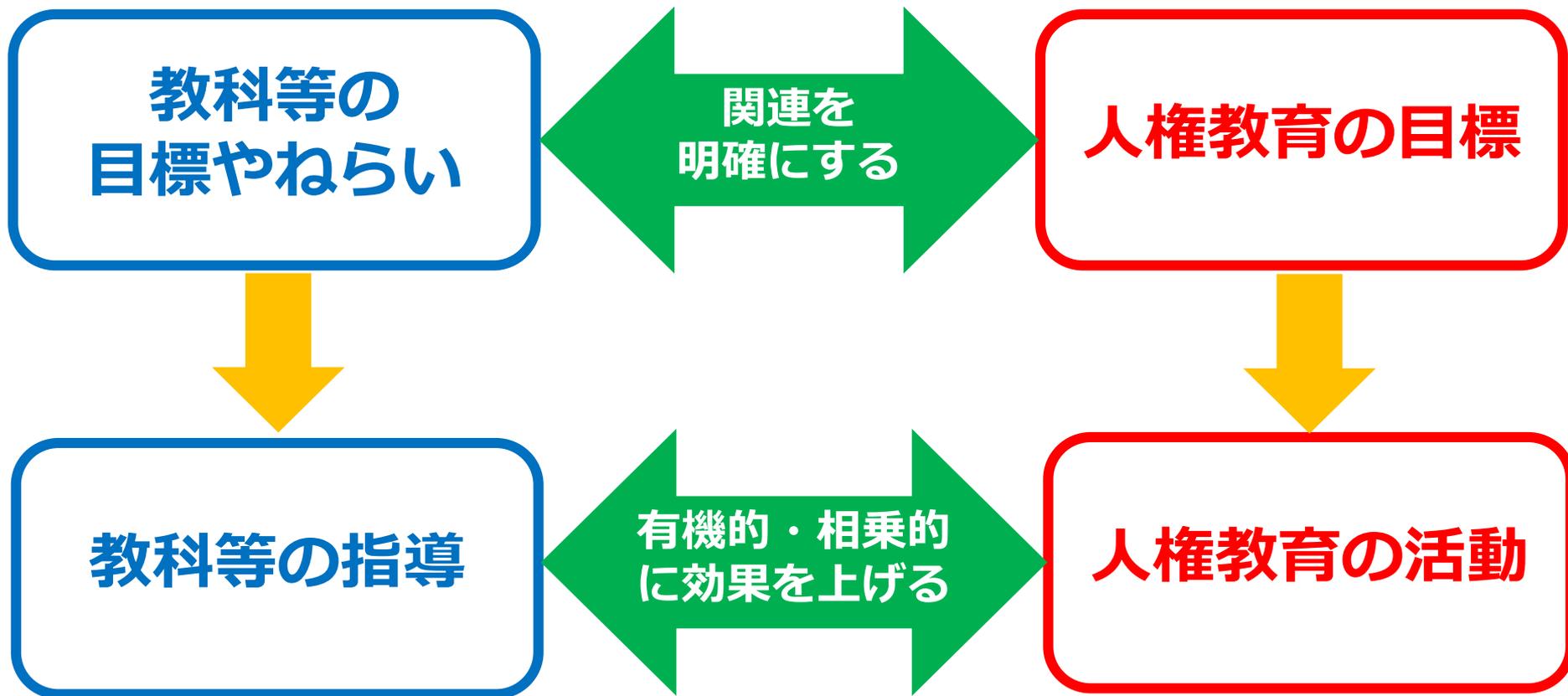


授業実践を通して
人権教育を推進するために

①人権教育の充実をめざした教育課程の編成



②人権教育の指導内容の構成

人権に関する
知的理解に関わる
指導内容

知識的側面の
能動的学習で深化される

人権感覚の
育成に関わる
指導内容

価値的・態度的側面と
技能的側面の学習で
高められる

学校全体における系統的な指導内容として、
3つの側面の育成を総合的に位置付けることが望ましい

②人権教育の指導内容の構成

「人権教育を通して育てたい資質・能力」
自分の人権を守り 他の人の人権を守るための実践的行動

自分の人権を守り他の人の人権を守ろうとする意識・意欲・態度

人権に関する知的理解

関連

人権感覚

知識的側面

関連

価値的・態度的側面

関連

技能的側面

関連

全ての関係者の人権が尊重されている教育の場としての学校・学級

知識的側面

- ・自由、責任、正義、平等、尊厳、権利、義務、相互依存性、連帯性等の概念への理解
- ・人権の発展・人権侵害等に関する歴史や現状に関する知識
- ・憲法や関係する国内法及び「世界人権宣言」その他の人権関連の主要な条約や法令等に関する知識
- ・自尊感情・自己開示・偏見など、人権課題の解決に必要な概念に関する知識
- ・人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識 等

関連

価値的・態度的側面

- ・人間の尊厳、自己価値及び他者の価値を感知する感覚
- ・自己についての肯定的態度
- ・自他の価値を尊重しようとする意欲や態度
- ・多様性に対する開かれた心と肯定的評価
- ・正義、自由、平等などの実現という理想に向かって活動しようとする意欲や態度
- ・人権侵害を受けている人々を支援しようとする意欲や態度
- ・人権の観点から自己自身の行為に責任を負う意志や態度
- ・社会の発達に主体的に関与しようとする意欲や態度 等

関連

技能的側面

- ・人間の尊厳の平等性を踏まえ、互いの相違を認め、受容できるための諸技能
- ・他者の痛みや感情を共感的に受容できるための想像力や感受性
- ・能動的な傾聴、適切な自己表現等を可能とするコミュニケーション技能
- ・他の人と対等で豊かな関係を築くことのできる社会的技能
- ・人間関係のゆがみ、ステレオタイプ、偏見、差別を見きわめる技能
- ・対立的問題を非暴力的で、双方にとってプラスとなるように解決する技能
- ・複数の情報源から情報を収集・吟味・分析し、公平で均衡のとれた結論に到達する技能 等

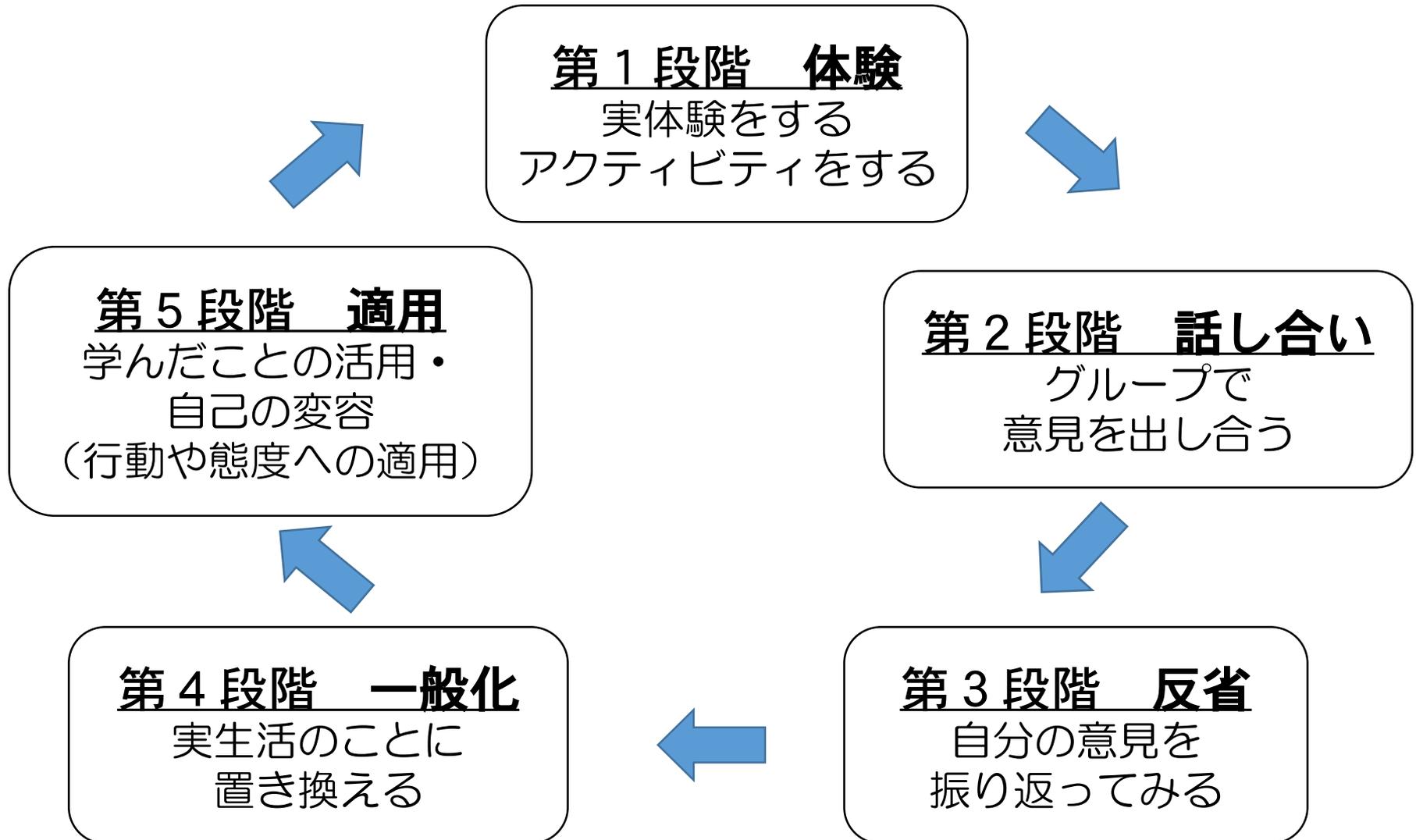
関連

③ 人権教育の指導方法の基本原則

- 協力的な学習
- 参加的な学習
- 体験的な学習

③人権教育の指導方法の基本原則

○体験的な学習に関する学習サイクル



④効果的な学習教材の選定・開発

(効果的な教材例)

- 外部講師の講話
- 保護者とともにつくる教材
- 視聴覚教材など児童生徒の訴える教材
- 同世代の児童生徒の作品の教材化
- 地域や身近な事柄の教材化
- 小説、詩などの教材化
- 人権課題に関する歴史的事象の教材化

④効果的な学習教材の選定・開発

○ 2つのアプローチからの人権教育の指導

普遍的な視点 からのアプローチ

「人権基準」といった
法令等の知識とともに、
人権とは何かといった
「人権の意義・内容」、
「多様性の受容」、
「自己 尊重の感情」及び
「コミュニケーション」等、
人権一般の普遍的な視点から
アプローチした取組

個別的な視点 からのアプローチ

以下のような個別の人権
課題について焦点を当てて
アプローチした取組

女性、子供、高齢者、障害者、
同和問題、アイヌの人々、外国人、
HIV感染者・ハンセン病患者等、
刑を終えて出所した人、
犯罪被害者等、インターネットに
よる人権侵害、北朝鮮当局による
拉致問題等、その他（性的指向・
性自認に関する人権）など具体的
な人権課題について学ぶこと

④効果的な学習教材の選定・開発

○課題等の選定について

○個別の人権課題の指導に取り組むに際して

- 当該分野の関連法規等に表れた考え方を正しく理解する。
- 当該人権課題に関わる当事者等への理解を深める。
- 児童生徒やその保護者、親族等の中に、当該人権課題の当事者等となっている人がいることを想定する。
- 個人情報やプライバシーに関することへの配慮を行う。